

〈誤答分析〉

- ・形成テスト後，SP表で誤答分析をする。SP表に，間違ったところを書き込んでいく。横にみると児童個人の間違いを把握でき，縦に見ると，学級全体でまだ理解不足でもう一度教え直さなければいけない部分が見える。
- ・誤答分析を生かして，理解が不足している児童には，補充指導を，十分理解している児童には発展の指導を行う。
- ・学習事項の定着度を知るため，次の形成的テストが終わったころ，または2ヵ月後ぐらいに総括テストを実施した。総括テストは，市販のものを利用した。

考え方										
伴って変わる二つの数量の関係を式に表して，簡潔に表現しようとする										
1					2			3		
①	②	③	④	⑤	①	②	③	①	②	③
1. 12. 11. 10. 9・8	1時間ずつへる(もどる)	13	$\square + \bigcirc = 13$	7時・4時	4・5・6	$\bigcirc - \square = 2$	22cm	8. 12・16・20・24	4倍	160cm
各2点	4点	4点	4点	各2点	各2点	4点	4点	各2点	4点	4点
				9時・4時						
13・14・15・16・17・18		15		7時・10時			23cm			
	アの逆にまわる	1つ	$\square + \bigcirc = \bigcirc$	6・3		$\square + \bigcirc =$	24cm			80
				6じ・3じ		$\square + \bigcirc = 4 \cdot 6 \cdot 8$ と2じになっている	40cm	8・13・16・21・27	2ばい3ばい4ばい	80cm
			$\square + \bigcirc = 13 \cdot \square - 13 = 0$						2倍	80cm
						$\square - \bigcirc = 2$	18cm	8. 12・16・20・27		
					6・9・12					80cm
								8. 12・16・18・19		44cm
							40cm			
			$\square + \bigcirc = 13 \cdot \square - 13 = 0$	$\square + \bigcirc = 13 \cdot \square - 13 = 0$						
	イのときも1じかんずつへる			7時・10時			60cm			80cm
				7時・6時						44cm